

2015年11月2日の経営会議の概要

日時：2015年11月2日（月） 午前9時5分～午前9時50分

会場：政策会議室

委員・幹事：市長、山田副市長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、総務課長、法制課長、財政課長

説明：議題1 環境資源部長、環境政策課長、環境政策課担当課長、環境政策課担当課長、資源循環課担当課長、3R推進課3R普及担当課長

議題1：一般廃棄物資源化基本計画「ごみ減量アクションプラン」の策定について
(環境資源部)

【付議の目的】

○一般廃棄物資源化基本計画の全体目標である、「ごみ40%削減」を達成するための「ごみ減量アクションプラン」について、承認を受ける。

【提案の概要】

一般廃棄物資源化基本計画の策定から5年が経過し、この間、循環型施設整備計画も策定され、一般廃棄物資源化基本計画の全体目標である「ごみ40%削減」の達成は、必須のものとなっている。

しかし、家庭系ごみは減少したものの、事業系ごみが増加しているため、一般廃棄物資源化基本計画の数値目標の基準年である2009年度と2013年度のごみ量を比較しても、横ばいであり、ごみの減量は進んでいない。そのため、増加している事業系ごみの減量対策、家庭系ごみのさらなる減量対策、及び資源化の推進が必要となっている。

この状況を踏まえ、ごみの現状分析や他自治体との比較及び課題の整理を行ったうえで、具体的な行動計画として、一般廃棄物資源化基本計画「ごみ減量アクションプラン」を策定する。「ごみ減量アクションプラン」では、ごみの減量・資源化のターゲット、ごみ減量を推進するための施策や各課の役割を具体的にし、より実効性の高い計画とすることで、一般廃棄物資源化基本計画の全体目標の達成を目指す。

【主な意見】

- ごみの組成などが市民にとってわかりやすい内容となるよう、表現方法を工夫すること。
- 家庭系紙類の資源化について、実効性が確保できるよう検討すること。
- 事業系ごみの減量を進める具体的な仕組みを検討すること。
- 指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。